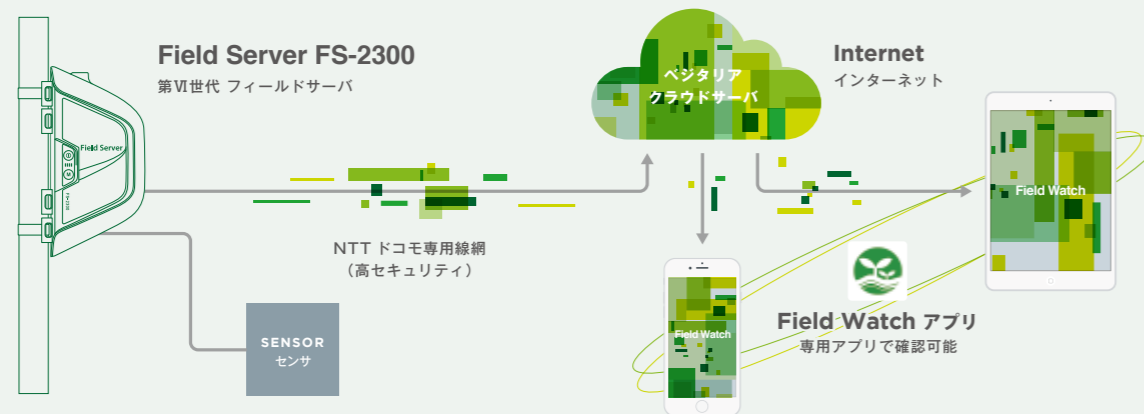


Field Server FS-2300 の主な仕様

定格性能部	電源電圧	一次電池 12V (単一アルカリ電池 8本)
	消費電流/電力	動作時100mA 1.2W以内 装填するセンサにより消費電流は増加します。
	電池寿命	6ヶ月 (10~40℃) 装填するセンサにより電池寿命は増減します。
	使用温度範囲	-10~50℃
	使用湿度範囲	10~100%(結露なきこと)
	外形	本体 W116mm×H209mm×D72mm 電池ボックス W125mm×H214mm×D102mm
	屋外保護	IP55相当
サーバ通信部	無線方式	モバイル通信 W-CDMA, (DS-CDMA, T-HCDMA)
時計部	精度	時刻取得 : 電源ON時に3G通信によりサーバから取得 時刻校正 : 1時間に1回サーバから取得、通信不可の時は内蔵のRTCにより時刻カウント RTC精度 : 周囲環境25℃にて月差±60秒以内

※本仕様については、性能改良、部品の生産中止等の理由により形状・仕様を変更することがあります。※各センサの仕様については別紙を参照ください。

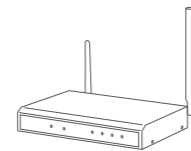
SYSTEM MAP



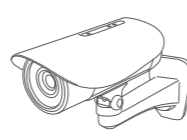
静止画ネットワークカメラ

数値データとともに、目に見える形での圃場監視も、重要なセンシングデータです。

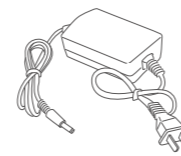
ベジタリアでは、遠隔地からでもスマホやタブレット、パソコンなどで圃場の静止画を確認することができ、クラウドサーバにも記録として保存しておくことのできるカメラソリューションを開発中です。



通信ユニット



カメラ本体



100V電源アダプター

販売

vegetalia
Vegetation Science & Technology

ベジタリア株式会社

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1セルリアンタワー15F
TEL:03-6416-5525(平日 9:30~17:30) E-mail:info@vegetalia.co.jp

製造

eLAB
experience

株式会社イーラボ・エクスペリエンス

TEL:03-6455-1991(平日 9:30~17:30) E-mail:info@elab-experience.com



Field Server FS-2300
第VI世代 フィールドサーバ

屋外計測モニタリングシステム

フィールドモニタリングで科学とテクノロジーによる農業を実現



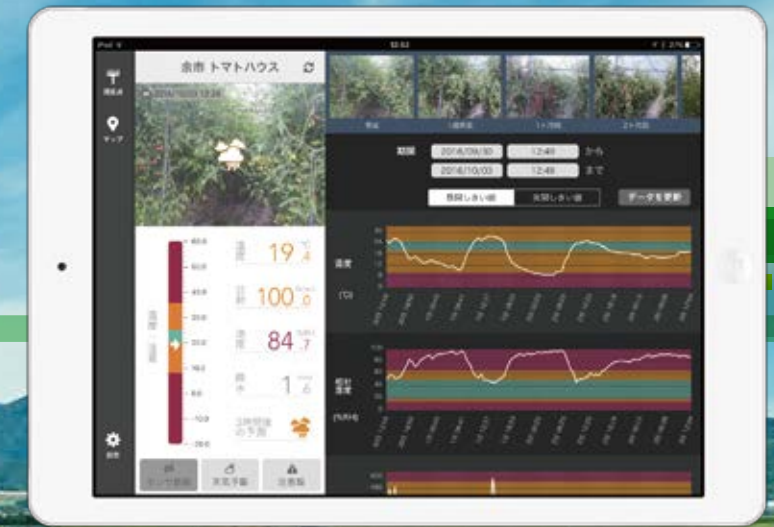
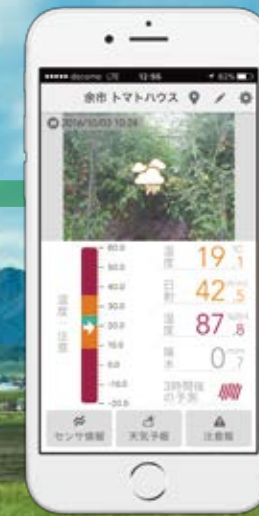
※乾電池駆動(設置工事不要)

Field Server の主な組み合わせ

- 露地栽培 生育測定モデル (乾電池駆動)**
 簡易気象計 + 土壤複合センサ (土壤温度/土壤含水率)
- 露地栽培 病虫害予察モデル (乾電池駆動)**
 簡易気象計 + 葉面濡れセンサ
- ハウス栽培 生育測定モデル (100V電源)**
 CO₂センサ + 土壤複合センサ (土壤温度/土壤含水率/EC)

圃場の環境情報や作物の生育状況を常時モニタリング

近年植物科学の分野では、植物の生育や病気のメカニズムが明らかになっています。次世代の農業では、従来の経験と勘による農業ではなく、農業現場で蓄積されたデータの分析により、病虫害の発生を抑えつつ最適な栽培環境を実現することで、各種予察や農作業の質と収量の向上を目指すことが可能になります。フィールドサーバにより、生産者は農業現場で必要とされる圃場の環境情報や作物の生育状況を常時モニタリングし、データに基づいた栽培管理が実現します。



SENSOR

栽培作物の特性に応じて選べる多彩なセンサ

用途に応じて必要なセンサを最大2種類選んで本体に接続するだけでデータ取得が可能になります。

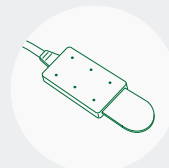
各種センサ



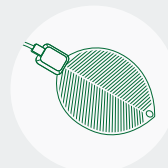
簡易気象計
温度・湿度・照度・降雨量・風向・風速



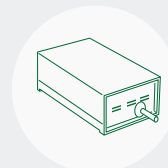
水稲用センサ
水位・水温



土壤複合センサ (3系統)
土壤温度・含水率・EC



葉面濡れセンサ
葉面濡れ度合い



CO₂センサ
CO₂濃度 (ppm)

※接続可能なセンサ群は今後も開発を進めてまいります。

CASE

Field Server FS-2300 活用事例

種類豊富なセンサラインナップにより、栽培環境にあわせて効果的に活用いただけます。



CASE 01 ハウス栽培

CO₂測定、土壤温度、土壤水分、土壤EC (電気伝導率) など土壤環境の測定が可能。トマトなどの生育をカメラ (静止画) で自動的に記録することもできます。



CASE 03 果樹

温度、湿度、日射を測定することにより、安定した生育環境をモニタリングできます。過去の生育記録と環境データにより、品質や収量の関係が見えてきます。



CASE 02 露地野菜

天候予測、生育環境データの傾向を見ることで収穫時期の見極めに役立ちます。また、病虫害の発生予測「注意報」も活用いただけます。



CASE 04 茶畑

凍霜害やカイガラムシの被害などを予測し、「注意報」をプッシュ通知します。また、天候予測や気温変化をモニタリングすることで、作業の効率化が図れます。